

第一段

三口のビーナスが魅惑的であるためには、両腕を失っていないならなかった。＝逆説
 自分の美しさのために 生臭い秘密の場所につまく忘れてきた。
 国境を渡っていくために（空間） 無意識に隠してきた。
 時代を超えていくために（時間）

⇐

特殊から普遍への巧まざる跳躍

部分的な具象の放棄によるある全体性への偶然の肉薄

両腕のあるビーナス

高雅と豊満の驚くべき合致
 美というものの一つの典型
 均整の魔

両腕を失ったビーナス

あるとらえがたい神秘的な雰囲気
 生命の多様な可能性の夢
 存在すべき無数の美しい腕への暗示
 微妙な全体性へのはばたき

⇐

現実の、美の一部

⇐

無数の夢の、美全体

第二段

三口のビーナスの両腕の復元案は興ざめである。

× 量の変化＝失われた両腕を復元する。

質の変化＝おびただしい夢をはらんでいる無から、限定されたところのなんらかの有
 への変化

第三段

失われているものが、両腕以外の何物かであってはならない。

手というものの人間存在における象徴的な意味

- ・世界との、他人との、自己との、千変万化する交渉の手段
- ・そうした関係を媒介するもの
- ・その原則的な方式

⇐

- ・不思議なアイロニー
- ・欠落によって、可能なあらゆる手への夢を奏でる